

# 食料供給を輸入に依存する状況下での「食料安全保障」と輸入 自由化政策の整合性

2012年4月6日

政策研究大学院大学

細江宣裕\*

School of Oriental and African Studies, University of London

田中铁二

## 概要

日本が農産物の輸入自由化に反対する理屈のひとつに「食料安全保障」がある。すなわち、食料供給には不確実性が伴うため、安価であるからといって直ちに輸入に依存することは危険であるという考え方である。本研究では、モンテカルロ・シミュレーションの手法を応用一般均衡モデル分析に適用し、国内外のコメや小麦等の4種類の主要農産物について生産性変動があるものとしてその影響を計量的に把握した。その中で、農産物自由化がこれらの食料供給に対して与える効果を分析した。その結果、現時点でそのほとんどを国産でまかなうコメだけでなく、ほとんどを輸入に依存する小麦等の農産物についても、輸入自由化が経済厚生を平均的に高めるだけでなく、その分散もより小さくすることが明らかにされた。また、いくつかの極端な不作ケースだけを取り上げて個別に吟味を行った場合でも、同様の輸入自由化の望ましい効果を確認することができた。

## キーワード

食料安全保障; 貿易自由化; 生産性変動; 農産物貿易; 応用一般均衡分析; モンテカルロ・シミュレーション

---

\* 連絡先: 106-8677 東京都港区六本木 7-22-1 政策研究大学院大学, e-mail: nhosoe@grips.ac.jp.